

小樽看護専門学校閉校のお知らせとお礼

小樽看護専門学校は、令和8(2026)年3月31日をもって閉校いたしました。

本校は、地域の准看護婦有資格者のため進学コース設置の要請が高まり、学校法人小樽昭和高等学校（現・共育の森学園）が設置主体となり、昭和40(1965)年開設の「小樽高等看護学院」が始まりとなります。その後、昭和55(1980)年に学校教育法の規定による専門課程を置く専修学校としての認可を受け昭和56(1981)年に現校名となり、校舎移転を経て、令和4(2022)年には医療法人社団心優会へ設置者を変更し、豊かな人間性を基盤とし、専門職業人として必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、社会に貢献できる看護実践者を育成することを教育の理念として、准看護師を看護師へ養成する2年課程（夜間定時制・修業年限3年）の学校としての役割を果たしてきました。

しかしながら、近年の准看護師養成所の減少や、看護師希望者の看護師3年課程（大学・専門学校）への進学志向という社会状況の変化に伴い、本校のありかたの議論を重ねた結果、苦渋の判断をいたしました。

終わりになりますが、これまで約60年に渡り2,664名の卒業生を輩出することができましたのは、ひとえに本校の教育・運営にご理解・ご協力を賜りました諸先生方・実習施設の皆様方・関係者の皆様方等、すべての方々のご指導・ご鞭撻の賜物と深く感謝を申し上げ、閉校のご挨拶とさせていただきます。

令和8(2026)年4月1日

医療法人社団心優会

理事長 三輪 英 則